

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社 ICHIKAWA(代表者名:市川二郎、以下「当社」という)は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「同機構」という)が発行するソーシャルボンド(第 80 回日本学生支援債券、以下「本債券」という)への投資を決定いたしましたのでお知らせします。

当社は1945年に原爆で焼け野原となった広島を復興させようと、ポンプとモータを持って水を供給したことからスタートしました。さらに、2018年の社名変更を機に、機械商社に加え、エンジニアリング事業、SDGsに基づいた自社製品開発の3つの柱を中心に走り続けております。

自社製品では、1台で年間1トンのCO2を削減する空調の動力用モータと制御するインバータユニットや人手不足解消に役立つ無人搬送ロボット。また、近年増えている自然災害に備え、救命作業や避難場所での生活を支える仮設電源として活躍する発電機車、川や池の水を汲み上げて生活用水を供給する水生成車や牡蠣殻を利用し環境に配慮したトイレカーなど、さまざまな社会課題の解決に取り組んでおります。



ビルや工場から出るCO2を削減するモータ
インバータ盤(商品名:LPMもしくはVPM)



人手不足を解消する無人搬送ロボット
(商品名:P-dash)



災害現場などで電気を供給する
発電機車(商品名:E-dash)



川や池の水を真水にする
水生成車(商品名:We-dash)



牡蠣殻を使った浄化槽を搭載した
新トイレカー(商品名:S-dash)

この度の本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標(SDGs)⁽¹⁾の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社は、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

本債券の概要

銘 柄	第 80 回日本学生支援債券
年 限	2 年
発行額	300 億円
発行日	2025 年 9 月 9 日

(1) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

会社概要

会 社 名 : 株式会社 ICHIKAWA

所 在 地 : (本社)〒730-0041 広島県広島市中区小町3-17 TEL082-246-3500

東京本店・大阪支店・名古屋・岡山・福山・大分営業所

HIROSHIMA BASE・ISESAKI BASE

創 立 : 1945 年(昭和 20 年)12 月 1 日

事 業 内 容 : ロボットや周辺設備のエンジニアリング、省エネ・CO2 削減製品の開発・製造、
技術商社(電力、自動車、半導体、ロボット、建設、環境 etc.)

U R L : <https://ibnet.co.jp/>

当社の取り組み

【事業領域】

- エンジニアリングで産業と技術革新を図る
- 豊かで安全な暮らしをつくるエネルギー産業
- 豊かなまちづくりのための都市開発
- 地球環境を守るクリーンシステム
- 人と機械が調和するシステム開発

【その他の取り組み】

- 「農」をテーマに持続可能な自然と共生する事業への参画
- ジェンダーを超えた褒章制度の実施
- システム刷新により情報管理・共有の利便性向上を図り、DX 化を推進
- ペーパーレス、再生紙の活用など個々にできる取り組みを励行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

